

県立青森第一高等養護学校のスクール・ミッション及びスクール・ポリシー

スクール・ミッション（県立特別支援学校の求められる役割、目指す学校像）

- 一人一人の障がいの状態等に応じて、その時に最も必要な教育を行うとともに、学んだことを生かしながら、自立と社会参加に向けて、主体的に学び続ける幼児児童生徒を育てます。
- 家庭や地域、関係機関と連携し、協力して幼児児童生徒を育てるとともに、障がいのある者と障がいのない者が支え合い、認め合える社会の実現に向けた取組を推進します。
- 幼児教育施設、小・中学校、高等学校等とつながり、必要な支援に努めながら、地域の特別支援教育の推進に貢献します。

スクール・ポリシー（一貫性を持って教育活動を進めるための具体的な3つの方針）

【グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）】

次のような資質・能力を育成します。

- それぞれのニーズに応じて自立し、主体的に社会参加することができるよう、必要な知識、技能等を培うとともに、豊かな心と健やかな体を育成します。
- 肢体不自由教育一部
 - ・自己の将来像をもち、それぞれの自立に必要な知識、技能等を培います。
 - ・学習や校内外における体験に積極的に取り組み、主体的に社会参加する態度を育て、豊かな心と健やかな体を育みます。
- 肢体不自由教育二部
 - ・健康状態の維持・改善に努め、たくましく生きていく力を育みます。
 - ・人やものに関わることを通してそれぞれの個性を引き出し、社会で生活していくための力を養います。
- 知的障害教育部
 - ・自ら学ぶ態度を育むとともに、将来の社会的自立に必要な知識、技能及び習慣を培います。
 - ・様々な学習活動を通して、お互いの人格を尊重する豊かな心を育みます。
 - ・心身の健康の保持・増進に努め、明るく充実した生活を送ろうとする意欲を培います。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）】

次のような教育活動を実施します。

- 肢体不自由、知的障がいそれぞれの障がい特性を踏まえ、自己実現のための教育的ニーズに応じた指導ができるよう、類型及びコースを設定する。
- 一人一人の学力や発達段階、進路志望に応じて学習指導に当たる。
- 一人一人が自立し社会参加することができるよう、教育活動全体において体験的な活動を取り入れ、生活力の向上を図る。
- 卒業後の社会生活を見据え、教育活動全体において、一人一人のコミュニケーション能力の向上を図る。

【アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）】

次のような生徒を求めています。

- 肢体不自由者又は知的障がい者である。
- 自立を目指し、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする。
- 基本的生活習慣が身に付き、学ぶ意欲を持っている。
- 学校生活の中で、他と協調し、ルールやマナーを守ることができる。
- 夢や希望を持ち、前向きに取り組もうとする。